

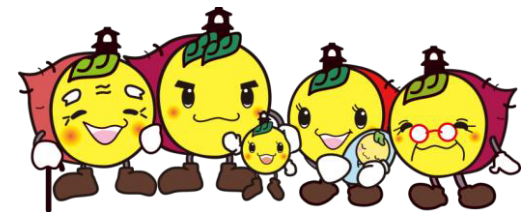
川越市

平成29年度予算のポイント



川越市シンボルマーク

平成29年2月





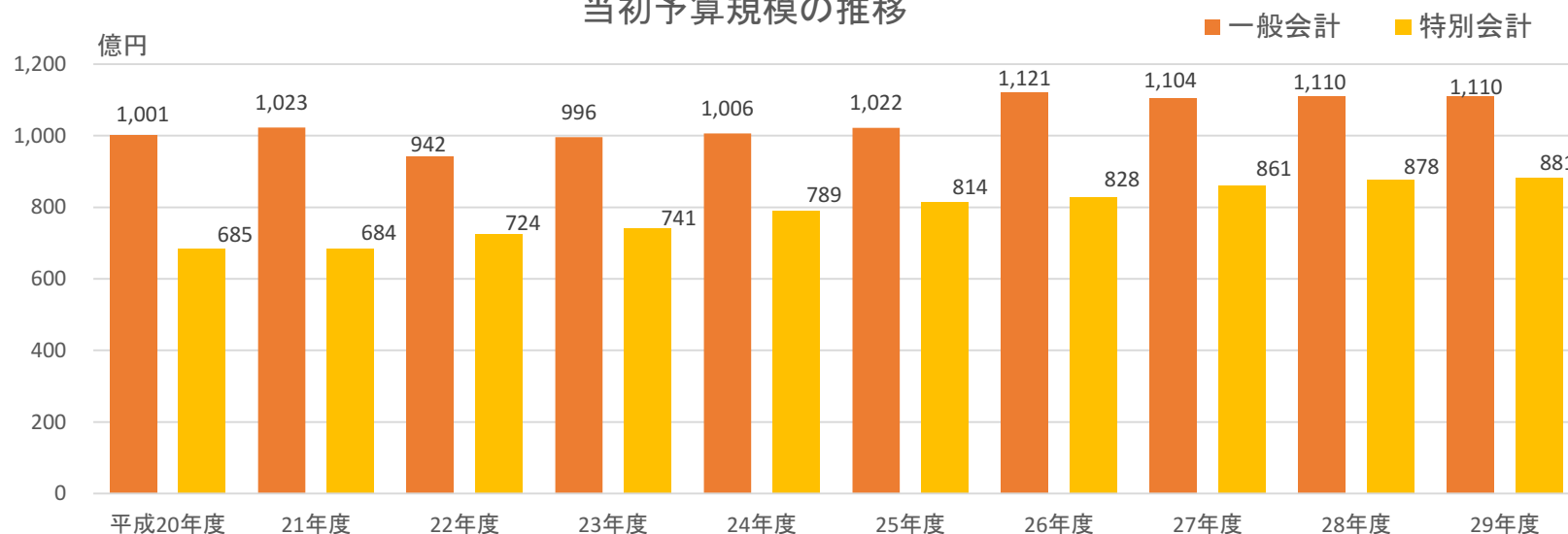
1 予算の規模

平成29年度一般会計予算

1,109億9,000万円 (対前年度比 3,000万円増)

～特別会計と合わせた予算総額は1,991億3,048万7千円～

当初予算規模の推移

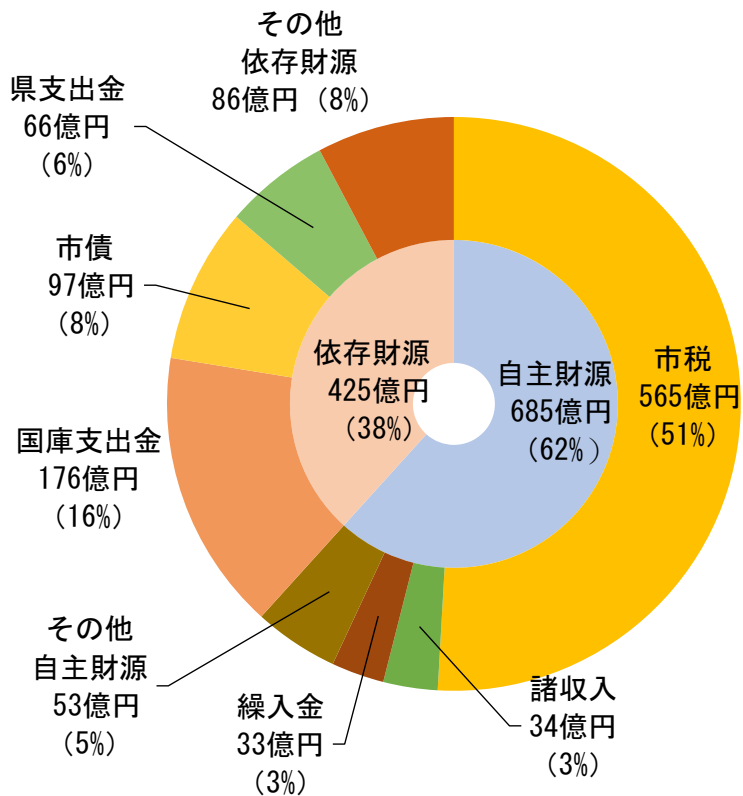


- 待機児童対策や子育て世代への支援策、教育環境の拡充とともに、活力あるまちづくりに向けた都市基盤整備に取り組むため、総額1,109億9,000万円となる平成29年度一般会計予算を編成。
- 平成29年度一般会計予算の規模は、平成28年度一般会計当初予算(1,109億6,000万円)とほぼ同額となり、平成26年度から4年連続で1,100億円超。
- 当初予算としては、平成26年度当初予算(1,120億8,000万円)に次ぐ2番目の規模。
- 一般会計と特別会計を合わせた総額は、1,991億3,048万7千円となり過去最大規模。



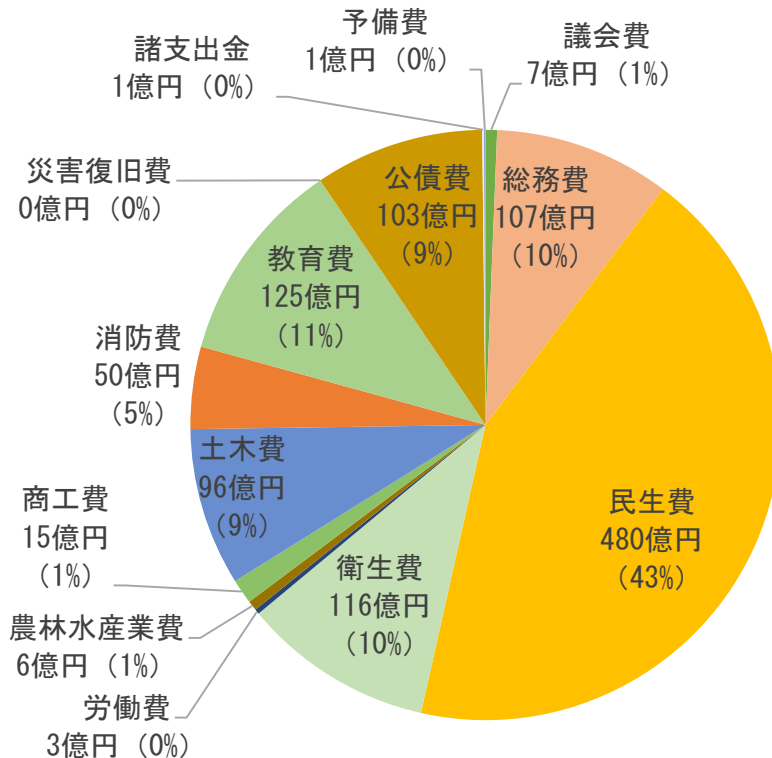
2 一般会計歳入及び歳出予算

歳入



- 市税は総額で前年度より11.9億円(2.2%)増の565億円を見込む。
- 地方消費税交付金は前年度より2.0億円増の55億円を見込む。
- 国庫支出金は前年度より5.9億円減の176億円を見込む。
- 県支出金は前年度より4.0億円減の66億円を見込む。
- 繰入金は前年度より1.1億円増の33億円を見込む。
- 市債は前年度より7.3億円増の97億円を見込む。

歳出 (目的別)



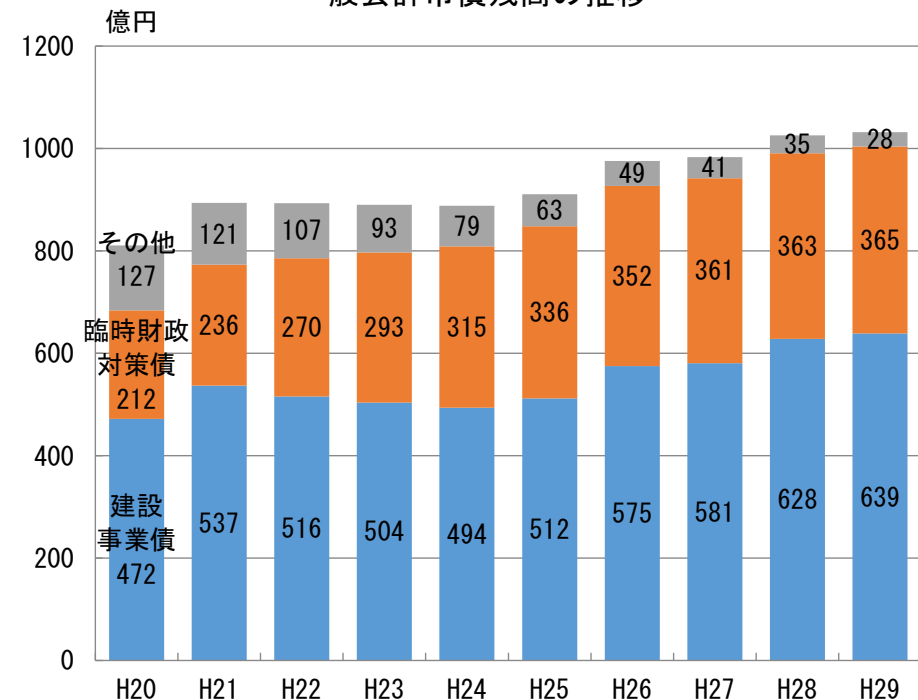
- 歳出予算の43%を占める民生費は、過去最大となる480億円を計上。
- 教育費は前年度より1.0億円増の125億円を計上。小学校普通教室のエアコン設置、就学援助の補助単価の引き上げ等を実施。
- 土木費は前年度より5.5億円増の96億円を計上。新河岸駅周辺、笠幡駅周辺、川越駅周辺、南古谷駅周辺の整備及び生活道路、幹線道路の整備に取り組む。



3 市債残高及び積立基金の状況

市債残高の状況

一般会計市債残高の推移

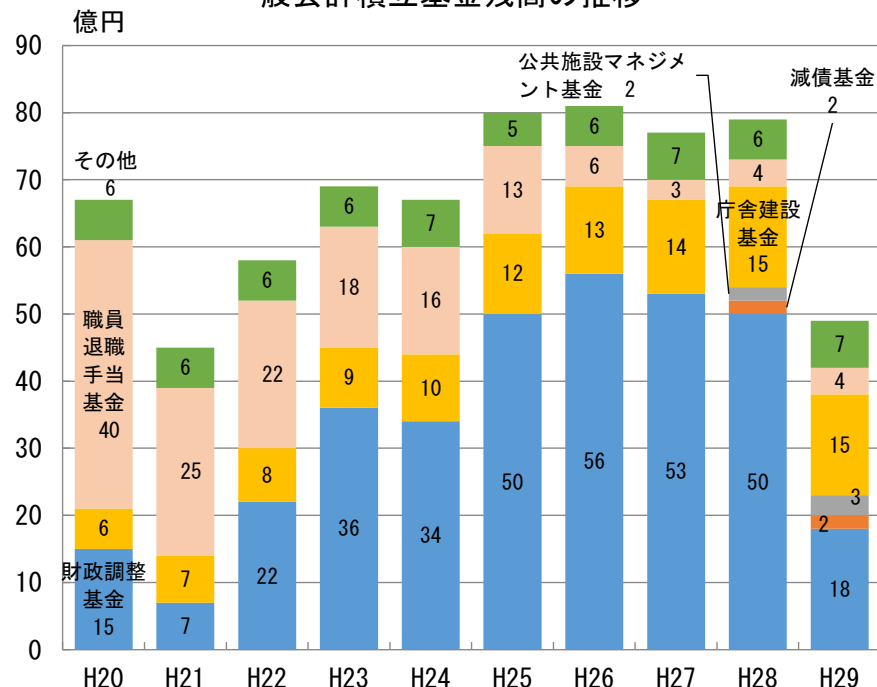


※H20～H27は決算、H28は最終予算見込み、H29は予算見込み

- 市債残高は、平成25年度以降増加で推移。
- 平成29年度は臨時財政対策債や小学校普通教室空調設備整備に係る小学校施設整備事業債の増により、前年度から6.0億円増の1,031億5,135万円を見込む。

積立基金の状況

一般会計積立基金残高の推移



※H20～H27は決算、H28は最終予算見込み、H29は予算見込み

- 平成28年度は、積立基金の総合的な見直しを行い、新たに公共施設マネジメント基金と減債基金を設置。
- 平成29年度末の積立基金残高は、財源対策として財政調整基金を32億8千万円取り崩したこと等により、前年度から30億5,145万円減の48億5,236万円を見込む。



4 重点施策の体系

第四次川越市総合計画や川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、平成29年度予算においては、以下の施策を積極的に推進することとします。

① 子どもを安心して産み、育てることができるまちづくり

② 魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

③ 人と人がつながり、安心して暮らせるまちづくり

④ 地方創生、オリンピックに向けた取組





①子どもを安心して産み、育てることができるまちづくり

【新規】産前・産後サポート事業

(2,598千円)

妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、子育て経験者等の相談しやすい「話し相手」による相談支援を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立感の解消を図ります。

先輩ママのボランティアが 悩みを抱えたママたちに寄り添います

子育て経験者が、対象となる家庭を訪問し、親の気持ちを受け止め話を聞いたり、親といっしょに育児などを行いながら、個別の相談に応じます。



- 育児に対する不安感、負担感の軽減が図られ、児童虐待の防止につながります。
- 気になる家庭、孤立家庭のケアが図られます。 等



担当部署：保健医療部健康づくり支援課(電話229-4121)



①子どもを安心して産み、育てることができるまちづくり

小学校普通教室空調設備整備・

【新規】中学校普通教室空調設備整備

(999,520千円)

小学校普通教室に空調設備を導入するための工事や設計を行うとともに、中学校普通教室空調設備を導入するための基礎調査を行います。

平成29年度は小学校15校にエアコンを設置 中学校についても導入に向けた調査を開始し、早期の導入を目指す

■公立小学校の設置スケジュール(予定)

		28年度	29年度	30年度
小学校	3校	設置工事		
小学校	15校	設計	設置工事	
小学校	14校		設計	設置工事



担当部署:教育総務部教育財務課(内線2830)



①子どもを安心して産み、育てることができるまちづくり

【新規】小・中学校新入学学用品費の増額及び早期支給の実施 (46,320千円)

就学援助において新入学学用品費の支給金額を増額するとともに、平成30年度入学分の支給時期を5月から入学前の3月へ変更します。



就学援助対象者の入学準備金を増額

支給時期も学用品の購入時期にあわせて入学前に変更(平成30年度入学分から)

小学校新一年生 現行 20,470円	➔	新単価 40,600円
-----------------------	---	-----------------------

中学校新一年生 現行 23,550円	➔	新単価 47,400円
-----------------------	---	-----------------------

※新単価は文部科学省の基準単価による

担当部署:教育総務部教育財務課(内線2830)



①子どもを安心して産み、育てることができるまちづくり

【新規】障害児通園施設(児童発達支援センター)建設 (397,800千円)

狭隘・老朽化したあけぼの・ひかり児童園について、2園を統合し、児童発達支援センターとして整備します。

平成31年度の開園に向けて施設建設に着手

あけぼの・ひかり児童園は築32年が経過し、施設の老朽化や利用者の増加による施設の狭隘化が課題であり、現在の敷地での改築が困難であることから、新たな場所に施設を整備します。

- 整備予定地
旧寿町学校給食センター跡地 (約4,200㎡)
- 整備スケジュール
工事期間 平成29～30年度 (2箇年)
- 事業費 (継続費)
9億9,350万円

あけぼの児童園は、昭和48年より知的障害児の通園施設として、ひかり児童園は、昭和50年より身体障害児の通園施設として開設され、児童の特性に応じた日常生活及び社会適応のための福祉型の支援を行っています。



※パースは基本設計段階でのイメージです。実際の建物とは異なる場合があります。

担当部署:こども未来部保育課(内線2590)



②魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

東武東上線川越駅ホームドア設置工事負担金 (115,500千円)

駅のホームからの転落防止を図るため、東武東上線川越駅ホームドア設置事業に対して、その費用の一部を負担します。

東武東上線川越駅ホームにホームドアが完成予定



平成27年度に川越市と東武鉄道株式会社において3年間の基本協定を締結し、東武鉄道が工事を実施している事業です。

※総事業費 10億2,000万円
(川越市負担は1/6)

担当部署:都市計画部交通政策課(内線2130)



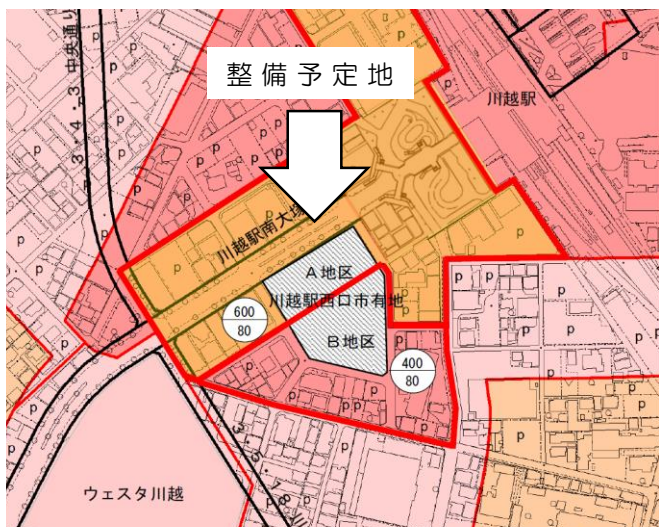
②魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

川越駅西口市有地利活用

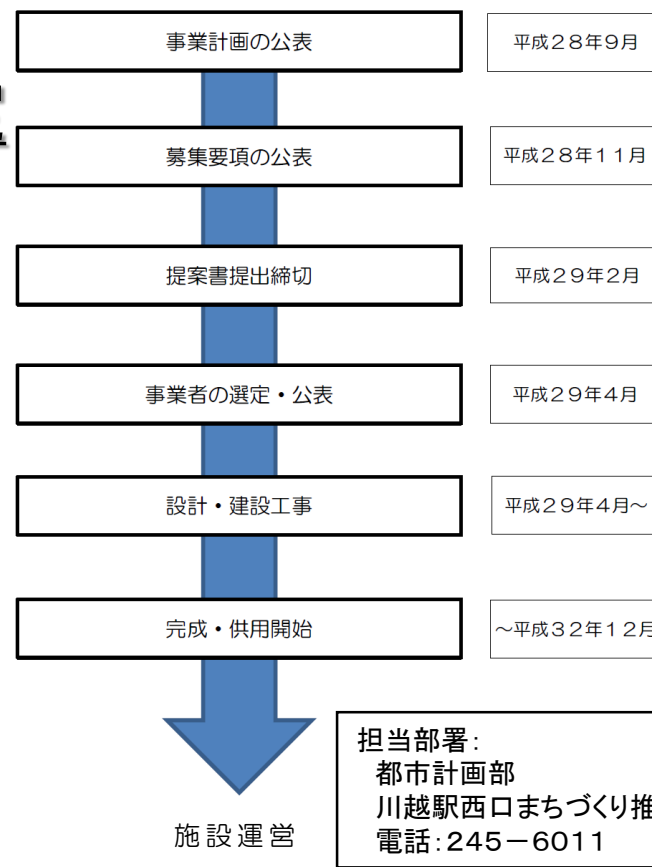
(95,535千円)

川越駅西口市有地に多様な機能の集積による新たな拠点を形成し、魅力あるまちづくりを目指します。

川越駅西口市有地において 官民連携事業で施設整備に着手予定



川越駅西口市有地利活用事業は、事業用定期借地にて市有地を借り受けた事業実施者が民間施設を整備し、市がその民間施設内の一部を借り受けて行政機能を運営する官民連携事業として実施し、市民生活の向上、地域の活性化及び新たなにぎわいの創出等を図ることを目的としています。





②魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

新河岸駅駅舎及び自由通路等整備

(1,733,664千円)

東西駅前広場を含む都市計画道路の整備とあわせて、新河岸駅の橋上駅舎整備及び自由通路整備を実施し、交通結節点の機能を確保するとともに駅利用者や地域の方の利便性の向上を図ります。

新河岸駅橋上駅舎及び東西駅前広場が平成29年度内に供用開始予定

■施設概要(予定)

1 駅舎

- ・構造：鉄骨造2階建て
- ・面積：約530平方メートル
- ・エレベーター、エスカレーター（昇りのみ）
- ・旅客トイレ 1箇所
- ・管理：東武鉄道株式会社

2 自由通路

- ・構造：鉄骨造2階建て
- ・延長：約70メートル
- ・幅員：約6メートル
- ・エレベーター、エスカレーター（昇りのみ）
- ・公衆トイレ（階段下） 東西各1箇所
- ・管理：川越市



完成イメージ図

担当部署：都市計画部新河岸駅周辺地区整備事務所（電話244-5588）



②魅力を高め、活力を生み出すまちづくり

【新規】ユネスコ無形文化遺産関連事業

(13,812千円)

川越氷川祭の山車行事のユネスコ無形文化遺産登録を記念し、川越まつり会館において体験イベントや展示物のリニューアルを実施するとともに、川越まつり協賛会において外国語ホームページの作成等を行います。

川越氷川祭の山車行事(川越まつり)の 文化的価値をPRし、観光地川越の魅力を高める

■記念事業(予定)

- ・川越まつり会館の事業
展示リニューアル
体験イベントの実施 等
- ・川越まつり協賛会の事業
川越まつり公式サイト更新
各種PR事業 等



担当部署:産業観光部観光課(内線2730)



③人と人がつながり、安心して暮らせるまちづくり

【新規】（仮称）ラジオ体操フェスタ （1,190千円）

ラジオ体操の普及事業として、ラジオ体操の普及に取り組んでいる県内の自治体と連携し、市民も楽しく参加できるイベントを開催します。

川越からラジオ体操のムーブメントを拡大

川越ではラジオ体操が市民などの間に広がりを見せるなか、ウエスタ川越（予定）においてイベントを開催し、ラジオ体操の一層の普及促進を目指します。



ラジオ体操マスター講習会の様子



自治会連合会結成60周年記念事業の様子

担当部署：保健医療部健康づくり支援課（電話229-4121）



③人と人がつながり、安心して暮らせるまちづくり

【新規】防災行政無線デジタル化整備

(388,300千円)

災害時における通信手段の確保とともに、データ通信機能の向上や難聴地域の改善等を図るため、防災行政無線設備をアナログ方式からデジタル方式に更新します。

防災行政無線のデジタル化により

災害時における情報伝達手段を安定的に確保

■整備スケジュール

工事期間 平成29～31年度（3箇年）

■事業費（継続費）

13億3,680万円

○難聴地域対策

- ・音質の向上により、聞き取りやすくなることが期待されます。
- ・新たな宅地造成により子局が無い地域などに子局を増設します。

○追加機能の導入

- ・一部の子局へ、親局との双方向通信ができる機能
- ・防災情報メールなど、複数の情報伝達手段の一斉配信機能



担当部署：防災危機管理室（内線2240）



④ 地方創生、オリンピックに向けた取組

【新規】(仮称)文化創造インキュベーション施設運営管理検討業務
【新規】旧川越織物市場整備 (193,000千円)

市指定文化財である旧川越織物市場を、若手のアーティストやクリエイターが創業支援を受けながら一定期間制作活動を行う「文化創造インキュベーション施設」として整備を行います。

ものづくり長屋プロジェクトのメイン事業に着手 ～川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられたプロジェクト～



- 整備スケジュール
工事期間 平成29～31年度（3箇年）
- 事業費（継続費）
5億9,140万円

担当部署: 都市計画部都市景観課(内線3270)



④地方創生、オリンピックに向けた取組

大会機運醸成事業

(6,870千円)

東京オリンピックのゴルフ競技が、本市にある霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催される予定であることから、大会の開催に向けた機運を高めていくためのイベント等を実施します。

オール川越で東京オリンピックを盛り上げ

■スポーツイベントの開催

オリンピックやパラリンピックの競技体験などのイベントを開催。

■アスリート講演会

オリンピックのメダリスト等による講演会を開催。

■オリンピック教室

市内中学校（2校）において、オリンピックによる授業を実施。



◆東京2020参画プログラム

大会組織委員会による公式文化プログラム

◆beyond2020プログラム

内閣官房による幅広い主体が参加できる文化プログラム



東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成事業が全国各地で展開されています。

関係団体等へも参加を呼びかけ、積極的に展開することにより、一層の機運の醸成を図ります。

担当部署：総合政策部オリンピック大会室（内線2121）